



東京ステーション おいしいものめぐり

10月も1週目はまだ夏の名残が感じられましたが、徐々に羽織ものがちょうどよくなるようになってきました。今回は駅ナカをちょっと離れて、ラグビーワールドカップ日本大会で盛り上がりを見せている東京駅近くの丸の内界隈からおいしいものをご紹介します。



写真左から「あまみ」1,080円(税込) 「さんみ」1,080円(税込) 「こくみ」1,080円(税込)

今回おススメするのはオフィスビルの中に店舗を構える豆菓子屋さん「umami nuts」です。丸の内にお店ができてからまだ1年足らずですが、2018年11月に誕生した当初から各方面で話題になり、メディアでも取り上げられていたのでご存じの方も多いかもかもしれません。

ノースアイランドが入っている丸ビルも面している丸の内仲通り。石畳の道の両サイドはハイブランドのショップやカフェなどが軒を連ねており、いつもビジネスマンやウィンドーショッピングを楽しむ方々にぎわっています。この仲通りを有楽町方面に歩いて行ったところにある国際ビルの一階にプレミアム豆菓子「umami nuts」はあります。

お茶うけにも、お酒のおつまみにもなる、絶妙な味加減の豆菓子たち。「あまみ」、「からみ」、「こくみ」、「さんみ」、「しおみ」という5つの味を、職人による伝統の製法で表現しているのだそうです。

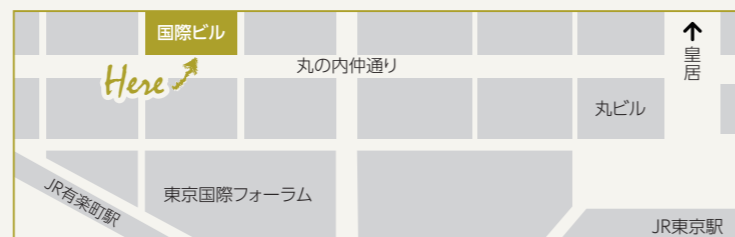
丸の内プチ日記

日本中を熱狂の渦に巻き込んで、ラグビーワールドカップ日本大会。4つのグループによる予選が行われ、日本は史上初めての決勝トーナメント進出を決めました。東京駅前には参加国のユニフォームをモチーフにしたオブジェが、また丸ビルには突如「丸の内ラグビー神社」なる神社も登場しており、街をあげての盛り上がりを見せています。丸の内仲通りにはたくさんのベンチアートもあり、日本チームの主将を務めるリーチ・マイケルのほか、チコちゃんやくまもとと一緒にベンチに座って写真が取れるなど、フォトスポットもたくさん出現しています。

そして来年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピック。ますます盛り上がりそうな丸の内です。

店舗やブランド自体は新しいのですが、実は創業60年もの歴史を持つ鹿児島島の老舗豆菓子専門店「大阪屋製菓」の職人さんが作り上げている逸品なのだとか。「こくみ」の豆を見て、「雀の卵」に似ているなあ」とつぶやいた九州出身のスタッフがいましたが、駄菓子屋さんでおなじみの「雀の卵」を作っている会社が実は大阪屋製菓。子どもの頃の懐かしい味とはちょっと違いますが、ビールやワインのおつまみにもピッタリの「こくみ」は、マカダミアナッツにイタリア産のポルチーニとパルメザンチーズを仕込んだ衣に、醤油味のパウダーで仕上げた大人の味。アーモンド、カシューナッツ、ピスタチオの3種類をローストし、徳之島産の黒糖を焦がさないようにキャラメリゼして絡めた「あまみ」と、レモンの酸味と醤油ベースのたれをまとわせた薄い衣に包まれたアーモンドの「さんみ」の3つが定番となっています。今月は期間限定の味として「かぼちゃ」フレーバーがありましたが、自然な甘さが後を引く感じで優しい味です。

店内で試食もさせてもらえるので、お好みの味を選んでみてはいかがでしょうか。丸の内にお越しの際は、ぜひ立ち寄ってみてください。



umami nuts
東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル1F

tisco-money+

東芝保険サービス株式会社 リテール企画部 営業支援グループ 〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビル TEL. 044-578-1028

CONTENTS

- 01 FP Topics
保険の見直し、
「いつ?」「何を?」「どのように?」
- 02 白石茂治のマネーレポート
- 03 数字の変化で見るこれからのライフプラン
- 02 ライフブランドリル
- 04 東京ステーション おいしいものめぐり

企画・制作 株式会社ノースアイランド



保険の見直し、「いつ?」「何を?」「どのように?」 ～「お宝保険」の活かし方～

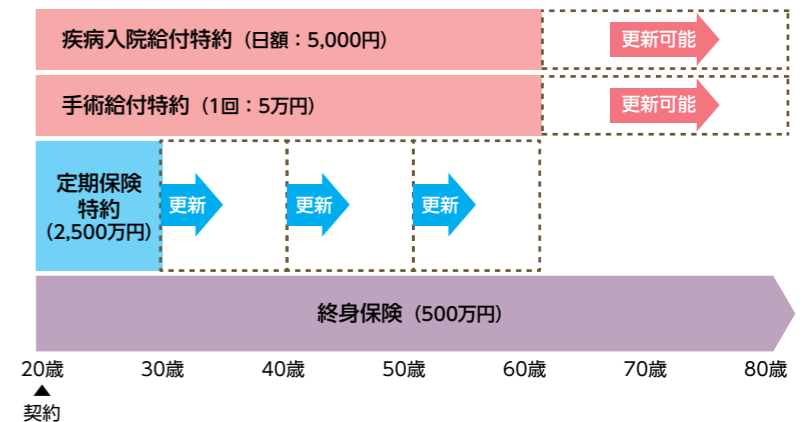
日本人は保険好きといわれていますが、最新のデータによると、生命保険の世帯加入率は83.3%(全年齢)*1。個人が保有する保険契約は1億7,302万件*2、なかでも「終身保険」が最も多く3,826万件*2となっています。かつて、一世を風靡した「定期保険特約付き終身保険」についても、いまだ931万件*2と多くの人が保有している状況です。こうした保険の見直しで相談に来られる方も多いため、今回は事例を用いて、見直しのポイントや注意点についてお伝えしていきましょう。

*1 公益財団法人 生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」より
*2 一般社団法人 生命保険協会「生命保険の動向(2018年版)」より

定期保険の見直し

来年55歳になるAさんは、20歳のときに右のような保険に加入しました。子どもが独立したこともあり、死亡保障はそれほどいらないと考えていますが、特約の医療保障は続けたいと思っています。

まず、死亡保障は、特約の定期保険(2,500万円)の減額や解約が考えられます。ただし、保険商品によっては更新時のみの対応としている場合もありますので確認されるとよいでしょう。



医療保障の見直し

医療保障については、Aさんが60歳になるまでが保障期間です。その後、更新可能ですが、年齢が上がった分、保険料も上がりますし、80歳で保障が終了してしまいます。厚生労働省「平成29年患者調査」によると、罹患率が高まり入院割合も格段に増えるのは男女ともに80歳以降ですので、いざというときに給付が受けられないことになってしまいます。

現在、健康状態に問題がなければ、特約の医療保障は解約し、終身医療保険に加入するという選択肢が考えられます。ただし、加入時の年齢が高いと保険料も安くはありませんので、支払い保険料に見合った給付が受けられるかの確認が必要です。

ちなみに、終身保険には「払済保険(はらいずみほけん)」という方法を選択できる場合があります。以後の保険料の支払いが不要なため、その分を終身医療保険の保険料に充てることが可能です。この場合、特約は消滅し、死亡保険金が減額されるという注意点ががあります。

「お宝保険」の活用

医療保障については、終身保険の活用も考えられます。Aさんが加入した1985年ごろは予定利率が5.5%と高い時期で、いわゆる「お宝保険」といわれています。終身保険は解約すると返戻金を受け取ることができ、予定利率が高ければ、それだけ大きな解約返戻金を受け取ることができます。それを治療や入院費用に充てるというわけです。

なお、「お宝保険」は解約までの期間が長ければ長いほど、解約返戻金は大きくなっていきます。そうしたことから、「手を付けてはいけない」などと言われることがありますが、必要な時期に役立てるという考え方も大切です。

いずれにしても、いざというときに「終身保険は解約すれば資金になる」、というのは安心感につながるのではないのでしょうか。



SHIGEHARU SHIRAISHI'S MONEY REPORT

白石茂治のマネーレポート



白石 茂治
ノースアイランド投資顧問(株)代表取締役

半世紀にわたり日本の金融に従事。山一投資顧問、ソシエテジェネラル時代は企業アナリスト、ストラテジストとして活躍。日本初のオイルマネーの運用担い手として金融発展にも貢献。山一投資顧問時代は日本版ラップ口座の企画開発など、個人投資家の市場参加への開発にも注力した。TV、新聞を始め、参議院自民党政策審議会など日本の中枢を司るメンバーの金融教育も担当している。

日本株式の見通し

2019年10~11月

日本株式は9月に22,000円(日経平均)まで戻りましたが、2018年12月の安値(19,155円)からの上昇率は15%。NYが25%、MSCIワールド(先進23カ国)が23%上昇したのに比べると、やはり力強さに欠けます。

テクニカル指標で騰落レシオが130%近くまで上昇しており、11月中旬頃までは調整だと思えます。2018年10月の戻り高値(24,270円)への挑戦は、年末・年始からになるのではないのでしょうか。

今の水準を国際比較しておくと、PCFR(償却前利益の株価倍率)は相変わらず13,000円(日経平均換算)も割安なままで。投資主体別売買動向では、海外投資家の売買シェアは70%前後で変わりません。直近の取材でも日本株は売り越しの意向です。安倍改造内閣が危機意識を持ち、少子高齢化や財政問題に本気で取り組めば、海外投資家の投資姿勢は一変します。日本の政治が「市場に教わる」という意識を是非持ってもらいたいものです。

為替市場の見通し

円/ドルベース、2019年10~11月

為替市場は緩やかな円高、中期的にも早ければ2020年中にも100円/ドルとの見通しは変わっていません。10~11月は前回と同様、107円~109円の予想です。

中東情勢は波乱含みです。米国とサウジアラビアが強硬姿勢に転じれば、有事の円高が早まります。

物価では日米物価差(コアCPI)は相変わらず1.6%程度もあり、全く縮まっていません。購買力平価説からはやはり円高と見るしかありません。トランプ大統領はFRBが政策金利を引き下げ、ドル高になることを強く警戒しています。日本は為替監視国にも指定され、円の水準は神経質にチェックされていると考えられます。

日銀は世界の中銀では最も積極的な量的拡大策をとっており、ここからの裁量幅は狭い。これは中期的な円高を示唆します。日本は成熟した債権国に移行しつつあると言われますが、実際には対外投資増で経常収支の黒字幅は縮まりません。資金需給面からも円安になりにくい構造です。

ライフブランドリル 第4回

問題に答えてライフプランの知識をパワーアップしましょう!

キャッシュレスに強くなる!

問題1

10月1日からの消費税率アップに伴って導入されたキャッシュレス決済をしたときのポイント還元には実施期間が決められています。2020年の何月末まで?

- ① 6月末まで ② 12月末まで

解答 ①

キャッシュレス決済とは、お札や小銭などの現金を使用せずにお金を払うこと。主なキャッシュレス決済手段としては、クレジットカード、デビットカード、電子マネー(交通系リペイドカードなど)、QRコードなどによるスマートフォン決済などがあり、キャッシュレス・ポイント還元事業は2020年6月30日までとなっています。



問題2

消費税率アップに伴って導入されたキャッシュレス決済をしたときのポイント還元率が2%の衣料品店で本体価格1万円(税込価格1万1,000円)の買い物をした場合、いくら分のポイントが還元されるの?

- ① 200円 ② 220円

解答 ②

キャッシュレス決済のポイント還元率は一般に5%と2%の2種類があり、原則、税込価格に対してのポイント還元となります。この場合、税込価格の1万1,000円に対して2%がポイント還元されますので、220円分となります。

問題3

キャッシュレス・ポイント還元事業では、SuicaやPASMOなどの交通系ICカードでも、対象店舗での利用であれば手続きなしでポイント還元が受けられるってホント?

- ① YES ② NO

解答 ②

Suica、ICOCA、SUGOCA、PASMOなど、全国で発行されている交通系のICカードは、鉄道やバスでの相互利用はもとより、加盟店において電子マネーとして決済が可能です。キャッシュレス・ポイント還元事業でも対象となっていますが、事前にWebサイトや自動券売機などで登録が必要なケースが多くなっています。まずはご自身が使われる交通系ICカードのWebサイトを確認し、ポイント還元について事前登録が必要かどうかを確認されるとよいでしょう。



数字の変化で見る
これからのライフプラン



4人の親のうち誰かと同居している割合



国立社会保障・人口問題研究所が5年ごとに実施している「全国家庭動向調査」の第6回(2018年)調査結果が今年9月に公表されました。この調査は、家庭機能の変化の動向や要因を正確に把握するため、出産、子育ての現状、家族関係の実態を明らかにすることを目的としていますが、今回の結果では、親との同居意識に変化が見られました。

夫婦それぞれの両親のうち、誰かと同居している割合が、5年前の2013年には31.5%であったのに対して、2018年は19.8%と約3分の2になっています。もちろん地域差もあるでしょうが、同じ建物に親・子・孫の三世代で住むという家族のあり方も減少していくことが予想されます。

なお、子どものいる夫婦の場合、妻が働きに出るときの子どもの世話については、前回調査まで親のサポートに頼る割合が一番多かったのですが、今回の調査で初めて公共の機関の利用が上回りました(親のサポート33.9%・公共の機関の利用42.0%)。

今年10月から幼児教育の無償化が始まっており、一時預かりや病児保育などについても、無償化の対象となる場合もありますので、より一層施設利用が増えていくのかもしれない。

また家族のあり方についても、「夫、妻とも同姓である必要はなく、別姓であってもよい」という意見の支持割合は前回調査より9ポイント上昇して50.5%という結果でした。

今回初めて同性カップルへの考え方についても調査が行われており、75.1%がなんらかの法的保障が認められるべきと考えており、69.5%が同性婚を法律で認めるべきと肯定的な見方をしています。

環境が変わることで、子育てのかたちも変わっていくように、家族のかたちや考え方についても変化していくことが考えられます。

ご夫婦で、あるいはご家族で、お互いがどのように考えているのか、どうしていきたいと思っているのか、一度話し合う機会を持つてみるのもよいのではないのでしょうか。